

―かつやま探訪案内―

私の好きなまち

勝山



※所要時間は最速の場合です。

JR大阪駅→特急(約1時間45分)→JR福井駅→えちぜん鉄道(52分)→勝山駅
JR名古屋駅→特急(約2時間)→JR福井駅→えちぜん鉄道(52分)→勝山駅
JR東京駅→新幹線(約2時間15分)→米原乗継ぎ→特急(約1時間)→JR福井駅→えちぜん鉄道(52分)→勝山駅

北陸自動車道／福井北IC・丸岡ICから国道416号経由で約35分
東海北陸自動車道／白鳥ICから油坂峠道路を通して国道158号→157号経由で約60分

小松空港 → バス(約1時間) → JR福井駅 → えちぜん鉄道(52分) → 勝山駅

目次

勝山市域図・アクセスマップ	1.2p	勝山のまつり・イベント	15.16p
国史跡 白井平泉寺旧境内	3.4p	恐竜渓谷ふくいつ勝山ジオパーク	17-20p
かつまき恐竜の森・福井県恐竜博物館	5.6p	勝山左義長まつり・年の市	21.22p
勝山城博物館	7.8p	まちなか散策ルートA「くるとまちなかめぐり」	23.24p
越前大仏	9.10p	まちなか散策ルートB「撮影スポットを歩く」	25.26p
スキージャム勝山	11.12p	まちなか散策ルートC「恐竜モノメント通りを歩く」	27.28p
はたや記念館 ゆめおれ勝山	13.14p	まちなか散歩	29.30p

国史跡 白山平泉寺旧 境内

(平泉寺白山神社)

勝山市域図 H-3

平泉寺白山神社社務所 TEL 0779-88-1591

白山平泉寺歴史探遊館まほろば TEL 0779-87-6001



悠久のころ

平泉寺は霊峰白山（標高2,702m）の越前側の登拝口に位置し、古代から中世後期にかけては白山信仰を背景に強大な宗教勢力を誇りました。最盛期の戦国期には、四十八社、三十六堂、六千の坊院（僧侶の住居）が境内に建ち並んだと伝えられています。

しかし、天正2（1574）年に一向一揆により全山焼失し、境内は10分の1ほどに縮小しました。さらに、明治の神仏分離令によって寺号は廃止され、白山神社となり現在に至っています。

平成元年度から始まった白山神社の南側に広がる南谷三千六百坊跡の発掘調査では、中世の「宗教都市」としての姿が徐々に明らかになってきています。

白山国立公園
かおりの風景百選
日本の道百選 歴史の道百選
美しい日本の歴史的風土百選



白山平泉寺歴史探遊館 まほろば
平泉寺の歴史や発掘状況を、映像や発掘品、写真パネルで紹介する総合案内施設です。



発掘された中世の石畳道

かつやま恐竜の森・福井県 恐竜博物館

勝山市域図 D-2



チャマゴンランド

恐竜化石発掘体験予約(かつやま恐竜の森管理事務所)

〒911-0023 福井県勝山市村岡町寺尾51-11

TEL 0779-88-8777 FAX 0779-88-5020

URL <http://www.kyoryunomori.net/>

営業時間 午前8時30分～午後5時 (休館日) 12/29～1/2

開園時間 午前8時30分～午後8時30分



福井県恐竜博物館

〒911-8601 福井県勝山市村岡町寺尾51-11

TEL 0779-88-0001 FAX 0779-88-8700

URL <http://www.dinosaur.pref.fukui.jp/>

営業時間 午前9時～午後5時 (休館日) 第2・4水曜日・12/29～1/2
(入館は午後4時30分まで) (臨時休館日あり)

観覧料 大人/500円 高校・大学生/400円 小・中学生/250円



扉の向こうは太古の世界

国内最大の恐竜化石の発掘地「勝山」には、かつやま恐竜の森と福井県恐竜博物館があります。

かつやま恐竜の森は、子どもたちに大人気の恐竜化石発掘体験や大迫力の恐竜遊具などで、楽しみながら自然と触れ合うことができる夢とロマンいっぱいの公園です。また、恐竜博物館では、恐竜の世界に触れ、地球について学び、生命の歴史をたどることができます。

見るだけでなく、さわって実感できる体験型ミュージアムとして子どもから大人まで幅広い年齢層に好評です



40体もの恐竜化石標本が
展示されている館内



平成の大天守に 今蘇る武士の魂

勝山城博物館は、国史跡白山平泉寺旧境内の菩提林入口付近にあります。天守閣は5層6階からなり、石垣から鯰までが57.8メートルと日本一の高さを誇ります。

展示室には、古くは鎌倉時代の重要刀剣など、全国各地の歴史的文化遗产が数多く展示されています。

この他に茶室もあり、6階の展望室からは、白山連峰や勝山の市街地が一望できます。



貴重な歴史的文化遺産



越前大仏

勝山市域図 G-3

〒911-0811 福井県勝山市片瀬50字1-1
TEL 0779-87-3300 FAX 0779-87-2292
URL http://www.geocities.jp/etizen_daibutu/
営業時間 午前8時～午後5時
拝観料 大人／500円 小人(小・中・高校生)／300円



未来へつづく心の聖地

境内には、日本一の高さを誇る五重塔や身の丈17メートルの大仏様が安置された大仏殿など、諸伽藍が配置されています。

さらに中国の国宝第1号を再現した九龍壁や広大な日本庭園など、見どころがつきません。



秋の風情漂う大門





近い、大きい、雪がいい。

西日本最大級のビッグゲレンデ「スキージャンプ勝山」。最長滑走距離5,800メートル、3つのマウンテンパークに多彩な12コース。眼下に広がる絶景を眺めながら爽快な滑走を楽しむことができます。

ゲレンデフロントには山小屋風のゆったりとした客室が特徴のホテルハーヴェスト勝山、パノラマ展望の露天風呂付きの温泉大浴場「ささゆり」、雄大で美しい景色を楽しみながら泳げるプールなど、純白のスノーワールドをお楽しみいただけるのはもちろんのこと、オールシーズンご満悦いただける本格リゾートです。



ゲレンデデータ
 ●ゲレンデコース/12コース
 ・標高/610m~1320m
 ・最大斜度/37度
 ・最長滑走距離/5,800m

「懐かしさとの出会いそして今・・・」

はたや記念館「ゆめおーれ勝山」は、明治38年(1905)から平成10年(1998)まで勝山の中堅機業場として操業していた建物を保存・活用したものです。

1階はまちなか案内機能を備え、勝山の魅力を紹介するゾーンです。手織り体験コーナーやカフェ、勝山の物産販売コーナーで勝山ならではの味や体験をお楽しみ頂けます。

2階は「繊維のまち・勝山」を紹介するミュージアムゾーンです。歴史ギャラリーと収蔵展示コーナーでは「機屋」の建物を生かした臨場感あふれる展示をご覧頂けます。

敷地内の「ゆめおーれ広場」では、小川に沿って憩いの空間が広がっています。

この建物は、勝山市指定文化財であり、平成19年に国の近代化産業遺産に認定されました。



近代化産業遺産

平成19年度 経済産業省



はたや記念館
ゆめおーれ勝山

ご案内

ゆめおーれ広場

カフェテラスでおくつろぎ頂けます。
また、小川が流れ、気軽に水辺で遊ぶ、
お子様にも楽しんで頂けます。

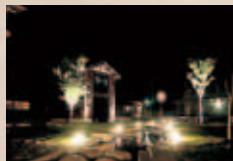


1階 カフェコーナー

たまご工房 エグエグ

自慢のロールケーキやシュウクリーム、
恐竜のたまごの形をしたプリンはお土産
にも最適です。

小川が流れるテラスを眺めながらゆったり
ティータイムを・・・。



夜間ライトアップ



イベント体験ホール



おみやげコーナー



2階 歴史ギャラリー

機屋に関する歴史をわかりやすく紹介
しています。

収蔵展示

いとくりま せいけいこ
糸繰機や整経機を展示しています。



収蔵展示

実際に機屋で使われていた織機を動態
展示しています。

勝山のまつり・イベント



勝山左義長まつり
-毎年2月最終土・日曜日開催-



勝山左義長まつり「ドンド焼き」
-毎年2月最終日曜日開催-



弁天桜まつり



走りやんこ



勝山年の市
-毎年1月最終日曜日開催-



春のうまいもん祭



秋のうまいもん祭



勝ち山夏物語
-かち山ちようちん登山-



勝ち山夏物語
-谷はやし込み-



恐竜クロカンマラソン



勝ち山夏物語
-大師山たいまつ登山-



勝ち山夏物語
-納涼花火大会-



勝ち山夏物語
-かちやまフジジョイ-



恐竜渓谷ふくい 勝山ジオパーク

DINOSAUR VALLEY FUKUI
KATSUYAMA GEOPARK

恐竜渓谷ふくい勝山ジオパークは「恐竜・恐竜化石」をメインテーマ、「火山と火山活動」、「地質・地形遺産と人々の暮らしとの関わり」をサブテーマとし、訪れる人々が目で見て肌で感じることができる、「**地域まるごとジオパーク**」を目指しています。平成21年10月「日本ジオパーク」に認定

テーマ1 「恐竜・恐竜化石」

「福井県恐竜博物館」をメインとしたエリアで、「かつやま恐竜の森」での化石発掘体験、自然観察ウォークや「恐竜化石発掘地」での1億2千万年前（白亜紀前期）の地層の見学など、「恐竜王国」を満喫できます。



① 福井県恐竜博物館 ＜勝山市村岡町＞

恐竜博物館の展示は、「恐竜の世界」のほか、「地球の科学」「生命の歴史」の3つのゾーンから構成されており、46億年の地球の歴史を楽しく学ぶことができます。



③ 恐竜化石発掘地 ＜勝山市北谷町＞

規模・産出量ともに日本一。貴重な恐竜化石や足跡化石が見つかり、日本の恐竜研究史を塗りかえました。

（発掘地に通じる林道は、一般車通行規制の場合あり。特に冬季は通行不可。）



② 化石発掘体験 ＜かつやま恐竜の森＞

NPO法人「恐竜のまち勝山応援隊」が開催している化石発掘体験は、県内外の子どもたちに大人気です。

★要予約★ 詳しくは「かつやま恐竜の森」ホームページで。



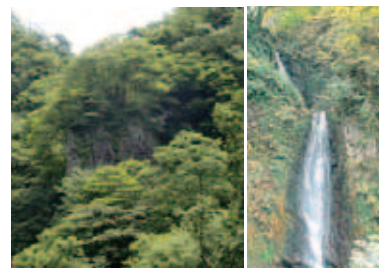
テーマ2 「火山と火山活動」

新生代第四紀火山である法恩寺山、経ヶ岳一帯を舞台として、地球規模の地殻変動や火山活動などが学習でき、高原からの眺望もすばらしい雄大なジオエリアです。



④ スキージャンプ勝山 ＜芳野ヶ原＞

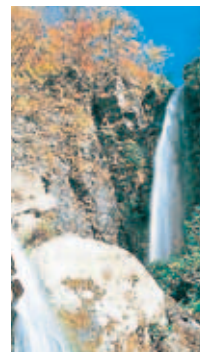
芳野ヶ原周辺に広がる溶岩台地はなだらかな傾斜を活かしてスキー場として利用されています。



⑥ 釣鐘岩 つりがねいわ

「釣鐘岩」の露頭や「御堂之滝」では、火山活動により噴出した溶岩が固まるときにできる柱状節理が観察できます。

⑦ 御堂之滝 のどのたき



⑤ 弁ヶ滝 べんがだき ＜勝山市平泉寺町＞ 滝全体が溶岩によってつくられています。



⑧ 大矢谷白山神社の巨大岩塊 ＜勝山市平泉寺町＞

経ヶ岳の山体崩壊に伴う「岩屑なだれ」によって運ばれてきた巨大な岩塊が観察できます。



テーマ3 「地質・地形遺産と人々

河岸段丘や伏流水の湧水など、福井県一の河川である九頭竜川水系の地質・

のくらしとの関わり」

地形遺産と勝山の人々のくらしとの関わりを体感できるジオエリアです。

勝山市中心部にある国の近代化産業遺産「はたや記念館 ゆめおれ勝山」を拠点として、レンタサイクルや徒歩などで、まちなかの日常風景の中にある河岸段丘崖や、生活用水として使われてきた伏流水の湧水などを巡ることができます。



⑨ 七里壁

勝山市平泉寺町大渡から隣接の永平寺町鳴鹿にかけて20数kmにわたって断続的に見られる河岸段丘は、「七里壁」と呼ばれています。



⑩ 大清水

市内各地で見られる湧水は人々の生活用水や清酒の醸造などに利用されてきました。

ー ご注意 ー

紹介している各ジオサイトは、車やレンタサイクルなどで現場付近まで行くことは可能ですが、山あいのジオサイトについては、天候や季節などによりアクセス林道の通行が制限されたり、禁止されたりする場合があります。初めて山あいのジオサイトに訪れる場合には、最初は勝山市や福井県恐竜博物館などが開催するジオツアーや、自然観察会などの各種メニューに参加されることをお勧めします。

蝶よ花よ
花よのネンネ
まだ乳のむか
乳くびはなせ
乳くびはなせ

ふる里に
春を呼ぶ奇祭

勝山左義長まつり

福井県指定 無形民俗文化財「勝山左義長」



御神体を燃やすことを「ドンド焼き」といい、左義長まつりのフィナーレを飾ります。

人々は燃え盛る炎に、五穀豊穡を願い無病息災を祈ります。

勝山年の市

「年の市」は、江戸時代には12月26日に開かれていました。

現在の本町通りに「市」が立ち、年末の諸用品を取り揃えるために近郷の人たちも買い物のため出かけて来るようになります。

その後、自らの手作り品も持ち込まれるようになり、市はますます繁栄し、恒例行事化していったものと思われます。

■開催日／1月最終日曜日



左義長の日には、各町内ごとに御神体(松飾り、別名:左義長さま)と太鼓櫓^{やぐら}が建てられ、御神体には歳徳神^{としとくじん}の御札や火打袋などが祀られ、櫓と共に道路の中央に設置されます。櫓の上では赤い長襦袢を着た浮き手の打つ左義長太鼓が三味線、笛、鉦^{かね}などのお囃子^{なげいゆばん}にのっておもしろおかしく浮かれる様は全国でも勝山だけであり奇祭と呼ばれています。昔から勝山では太鼓を打つ事を「浮く」と言います。 ■開催日／2月最終土・日曜日

やぐら
櫓 上袋田区、上長洲区、下長洲区の櫓は 勝山市指定有形文化財に指定されています。



上袋田区(明治16年建立)



上長洲区(明治17年建立)



下長洲区(明治18年建立)

はたや記念館 ゆめおーれ勝山

勝山市指定有形文化財 国の近代化産業遺産



→
徒歩
約10分

START →

勝山城址之碑

表は勝山藩最後の藩主小笠原長守の書です。裏には小笠原家が元禄4年(1691)に勝山へ入封して以来、廃城に至る歴史が記されており、こちらには長守の子長育の書です。



開善寺

勝山藩主小笠原家の菩提寺です。鎌倉時代末に小笠原貞宗が信州松尾(長野県諏訪市)に建立後、小笠原家の転封に伴って、その領地に建立されました。

その後、元禄4年(1691)初代小笠原勝山藩主となる貞信の勝山入封に伴い、当地に建立されました。

境内にある小笠原家累代の廟所は、市指定文化財となっています。



→
徒歩
約5分



勝山駅舎 国登録有形文化財

この駅舎は、大正3年(1914)に越前電気鉄道の開通に伴って建てられました。

大正時代の雰囲気を残し、駅本屋は、木造2階建て瓦ぶきで、外壁は1階は洋風造り、2階は和風造りとなっており、和洋が組み合わせていることに特徴があります。

GOAL ←

↑
徒歩
約15分

大清水(おおしょうず)

段丘崖の下から流れ出る清水は崖に沿って流れ、大蓮寺川に合流します。かつては湧き水も豊富で、夏は果物を冷したり、子どもの水遊びの場や洗い場ともなり、下流の生け簀では鰻や川魚が養われていました。

明治28年(1895)「十人組」と呼ばれた後町の有力者が世話人となって、不動明王を祀りました。

近年、「まちなか整備事業」によって「大清水」とその周辺が憩いの空間として生まれ変わりました。



←
徒歩
約10分

金燈籠 勝山市指定有形文化財 <毘沙門>

幕末の万延元年(1860)勝山町の有力町人28人の世話で、災難よけの常夜燈として本町通り(現在の市民活動センター前)に建立されました。

すぐれた彫刻を施した金燈籠でもあり、火が絶やされたことはありませんでした。

明治29年(1896)4月の大火によって赤銅色に焼けたのだと伝えられています。馬車の通行が盛んになったため、昭和初期に現在の建雷神社境内(通称:毘沙門)に移されました。



↓
徒歩
約5分

旧成器堂講堂

勝山市指定有形文化財

天保12年(1841)藩の人材養成を目的に勝山城三の丸西側に読書堂として開校。

2年後の同14年、『礼記』の「玉不琢、不成器」(素質があっても修行を積まねば立派な人物になれない)にならって成器堂と改称しました。建物のうち講堂、演武寮、表門は移築され現存し、それぞれが市指定有形文化財となっています。講堂は明治44年(1911)に現在地に移されました。「成器堂」の伝統は受け継がれ、校名としても使われています。



↓
徒歩
約10分

はたや記念館 ゆめおれ勝山

勝山市指定有形文化財 国の近代化産業遺産

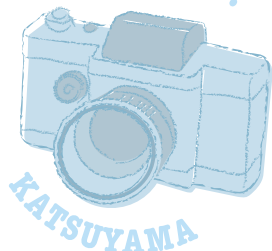
ゆめおれ広場では小川に沿って憩いの空間が広がっています。夜のライトアップも幻想的です。



徒歩
約15分

START →

Photo Spoto...



カメラの
ファインダー越しに
覗く「勝山」の風景は、
いつもと違って見える。
そこには
新しい「勝山」が...

勝山駅舎 国登録有形文化財



徒歩
約5分

GOAL ←

本町通り

明治29年(1896)の大火直後に造られた家や、大正から昭和初期の町屋の様相を留める家々が建ち並び、江戸時代の面影を今に伝えています。



徒歩
約10分

大清水 (おおしょうず)



徒歩
約10分

勝山橋

最初の勝山橋は大正4年8月に架けられました。

現在のモダンな橋は、平成12年に架けられた4代目の橋となります。

九頭竜川にかかる勝山橋から見える堤防の桜並木や残雪をいただく山並みは見事です。



まちなか散策ルート 恐竜 モニュメント通りを歩く



チャマリン石像

女の子
勝山市キャラクター



キタダニリュウ

(ドロマエオサウルス科)
白亜紀前期／肉食



恐竜溪谷ふくい勝山ジオパーク (壁画)



アンキロサウルス

白亜紀後期／草食



ステゴサウルス

ジュラ紀後期／草食



チャマゴン&チャマリン石像



チャマゴン石像

男の子
勝山市キャラクター



フクイリュウ (イグアノドン科)

白亜紀前期／草食



スギヤマリュウ

(ブラキオサウルス科)
白亜紀前期／草食



ティラノサウルス

白亜紀後期／肉食



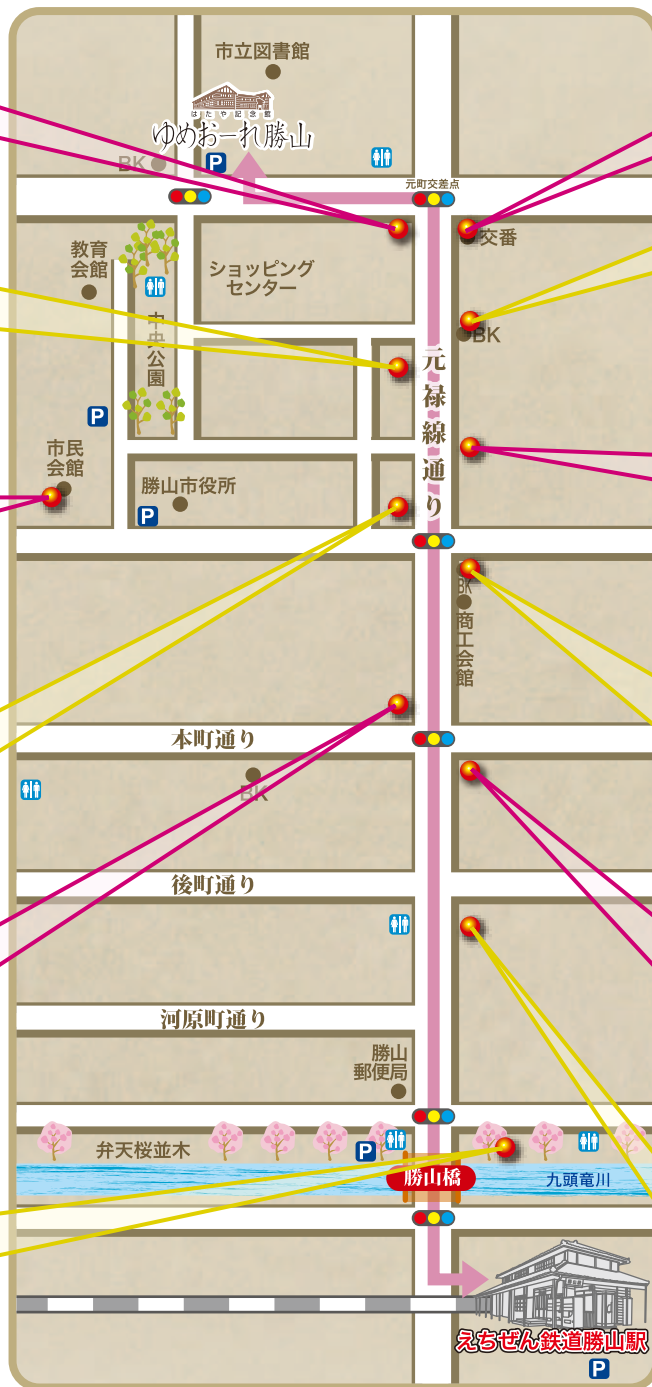
トリケラトプス

白亜紀後期／草食



カツヤマリュウ (アロサウルス科)

白亜紀前期／肉食





日本ジオパーク認定

—かつやま探訪案内—

恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク



福井県恐竜博物館